



子どもの体験活動の場
(愛称「Coミドリ(こみどり)」)

地下鉄真駒内駅を柏丘の方へ下っていく途中、子どもたちの元気な声が聞こえてきます。旧真駒内緑小学校を利用した「まこまる」のプレーパークで遊ぶ子どもたちです。

まこまるに入っている団体の一つ、子どもの体験活動の場(愛称「Coミドリ(こみどり)」)は子どもたちを対象としたプレーパーク事業や体験プログラム、また地域と子どもたちをつなげる取組などを行っています。

●「遊び」に年齢は関係ない
「地域全体で子どもたちを見守る」

もっと自由に、わくわくする体験を

ていく環境をつくることも私たちの役割です」そう話していただいたのはCoミドリの宇野英樹さん。Coミドリでは、ダンスや遊び、またオープンマイクというなんでもOKの発表の場などを通じて、さまざまな年代の方の交流が生まれています。特にダンスの練習は子どもからお年寄りまでの参加があり、毎回とても盛り上がっているそう。「一緒に身体を動かすと年齢も関係なくすぐに仲良くなれます」とのこと。



プレーパークでは子どもたちの自主性に任せて、自由に好きなように遊べます。

●子どもたちの聖域であること
Coミドリが目指すのは、もっと子どもたちがわくわくするような環境づくり。たとえば豊かなみどりの中にまこまるが見えて来るよう、もっといろんな風に自由に遊べる環境ができればと考えているそう。「みんなが『なんだあれ、行ってみたい!』とわくわくするような、そんな子どもたちの聖域のような場所ができればと思っています。」と宇野さん。

●真駒内でしかできないことを
「地域みなさんにもまこまるをもっと活用していただきたいですね。」と宇野さんは言います。地域の活動の場として、カフェやワンデイシェフ、さまざまな地域との交流の企画など、まこまるを中心としたさまざまな取組は真駒内をさらに盛り上げていきます。



ベジ子 今野純子さん

「ベジパフェ」をご存知でしょうか。カットされた何種類もの野菜がまるで花束のようにラッピングされており、レンジで温めるだけで簡単に美味しい温野菜ができる商品です。そんな「ベジパフェ」や「食」を通じて地域のつながりづくりに取組んでいるのがベジ子こと、今野純子さんです。今野さんはまこまる内のカフェでワンデイシェフに参加されたり、真駒内や南区の魅力の発信を目的とするまこマルシェに出展されたり、真駒内を中心とした活動に取組んでいます。

「ひらめき」は美味しい出会いから

●人が会える場をつくる
「私はワンデイシェフを企画するにしても場所や食材など調整事をするのが役目です。何をやるかというよりも、むしろその場づくりに興味があるんです。」もともとコワーキングスペースを運営していた今野さんは、そこでの経験からさまざまな人と人が出会い、話すことによって生まれるアイデアや発見に可能性を感じたそう。



ベジパフェを模した野菜のぬいぐるみを使って、初めて会った人にも話しかけるきっかけづくりをしているそう

「ワンデイシェフではもちろん美味しい料理を提供していきたいとは思っていますが、そこで生まれる出会いや会話を楽しんでほしいなと思います。」来ていただいたお客さんにも「今日は何しにまこまるに来たんですか?」「この料理で使っている野菜は…」と積極的に話しかけます。

●誰かの想いを叶えるお手伝い
以前、出会った方が故郷の伝統的な料理を食べさせてくれたことが印象深かったそう。「そんな伝えたい「食」があったり、やってみたいことやチャレンジしてみたいことがある人は声をかけてほしい。」と今野さんは言います。「誰かの想いを叶えるお手伝い」を続ける今野さん。今野さんの活動がたくさんの方の出会いや対話を生み出し、真駒内に新しいひらめきをもたらしてくれるのかもしれない。



「きて！みて！まこまる2017」が開催されました！

平成29年10月14日(土)、「きて！みて！まこまる2017」がまこまる(旧真駒内緑小学校)にて開催されました。まこまるで活動する各団体ごとに個性的な催しが企画され、子どもから大人までが「食べる」「遊べる」「学べる」盛りだくさんの賑やかな一日となりました。



きて！みて！まこまる2017 開催概要

- ◆開催日時 平成29年10月14日(土) 9:00~17:00
- ◆開催場所 まこまる(旧真駒内緑小学校) 真駒内幸町2丁目2-2
- ◆主催 まこまる運営協議会
(NPO法人さっぽろAMスポーツクラブ、札幌市立大学、南区保育・子育て支援センター、真駒内相談指導教室・まこまる教育相談室、社会福祉法人札幌全育会 ※順不同)



きて！みて！まこまる2017 主なプログラム

- ◆まこまるを体験しよう！⇒詳細は中面へ
- ◆ちあふる・みなみ(南区保育・子育て支援センター)
 - ・きて！みて！「出張子育てサロン」(10:00~12:00)
- ◆Coミドリ(子どもの体験活動の場)
 - ・Coミドリ プレーパーク(9:00~17:00)
 - ・ワンデイシェフ(11:00~15:00)
 - ・紙芝居「こうたと桜の森」(11:00~15:00)
 - ・オープンマイク(13:30~16:00)
- ◆札幌市立大学
 - ・ボードゲームの世界に触れてみよう！(10:00~15:00)
 - ・南区をテーマとしたパネル展示(10:00~15:00)
 - ・まちの教室公開講座
 - ①「健康情報学-健康・医療の情報を賢く判断し選ぶために-」
 - ②「こどもの描くスケッチから「まちの未来」を考える」をテーマにした講座(①10:10~10:55、②14:15~15:00)
 - ・「みんなで楽しくふまねっと」(11:00~12:00)
 - ・まちの健康応援室 開室(13:50~15:00)
 - ・まちの小さな音楽会(10:00~15:00)

◆地域の魅力を知って楽しもう！

まこマルシェ 【野菜など秋の味覚を楽しもう！】

真駒内や南区で販売や収穫されている野菜やフルーツなどを販売しました。生産者さんと会話をしながら買い物をする姿が見られました。

- 4丁目サロンまんまる松崎商店(真駒内)
- ベジパフェベジコ(真駒内)
- ちらい園(滝野)
- 野菜直売しちのへ(澄川)
- 西本果樹園(砥山)



発行者(共同発行)

- 真駒内地区連合会 〒005-0014 札幌市真駒内幸町2丁目 真駒内まちづくりセンター TEL.(011) 581-3025 FAX.(011) 581-8020
- 札幌市 まちづくり政策局 〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 都市計画部地域計画課 TEL.(011) 211-2545 FAX.(011) 218-5113



まこまるを体験しよう！

ちあふる・みなみ（南区保育・子育て支援センター）

【きて！みて！「出張子育てサロン」】

わにたたきなどの大型遊具で遊べる特別版の子育てサロンでした。いつものサロンとは違った遊びで楽しむ子どもたちの姿が見られました。

●きて！みて！「出張子育てサロン」



Co ミドリ（子どもの体験活動の場）

【プレーパーク】

グラウンドは水やボールを使って自由に遊びまわると子どもたちで賑わっていました！

●プレーパーク



●ワンデイシェフ



【ワンデイシェフ】

パンのバイキングやおからの稲荷ずしなどイベント限定の特別メニューが提供されました。

●紙芝居「こうたと桜の森」



●オープンマイク



【紙芝居「こうたと桜の森」】

小金湯さくらの森を題材にしたオリジナルの紙芝居の多くの方が聞き入っていました。

【オープンマイク】

歌や楽器などの発表がありました。観覧のお客さんも一緒になって踊ったり歌ったりと賑やかな時間になりました。

札幌市立大学

【ボードゲームの世界に触れてみよう！・遊びワークショップまちのロボットこうじょう】

たくさんのボードゲームから好きなもので遊んだり、さまざまな材料から自由な発想で工作をする子どもたちの姿が見られました。

●遊びワークショップ まちのロボットこうじょう



●まちの小さな音楽会



【まちの小さな音楽会】

オカリナやピアノ、箏の演奏が行われ、子どもから大人までが楽しめる音楽会となりました。

●まちの教室 公開講座



●みんなで楽しくふまねっと



【まちの教室公開講座】

健康・医療の情報の読み解き方についての講座や子どもたちのスケッチから考える「まちの未来」についての講座が開かれました。

【「みんなで楽しくふまねっと」】

参加者は看護学部の学生とともに楽しく歩行運動を学んでいました。

【まちの健康応援室 開室】

骨密度測定や体内年齢チェックなどの健康チェックや健康相談が行われました。

【南区をテーマとしたパネル展示】

南区をテーマにした授業や教員の研究成果や、まちの先生の活動成果をパネルで展示しました。



「まこ×まち活」でつくる新しい真駒内

「まこ×まち活」とは、真駒内地域で市民を中心に行われるまちづくり活動を指します。今回は3つの団体とお一方にスポットをあててご紹介します。活動内容はもちろん、活動して感じていることやこれからの真駒内のまちづくりへの思いなどお話しいただきました。



UI マルシェ

柏丘のセイコーマートとお花屋さんが並ぶ建物の2階に、「シェアアトリエ UI」があります。ここではアーティストが場所を共有して作品制作を行っています。アーティストがつながる場となっているシェアアトリエ UI が、アーティストと地域がつながる場として月に1度の日曜日に開催しているのが「UI マルシェ」です。

●UI マルシェとは

現代美術家の伊賀信さん、富士翔太郎さん、ガラス作家のkaoさん、造形の上遠野いひさん、セレクト

出合いが繋がるマルシェ

ショップ店主石丸さんが活動するシェアアトリエUI。月に1度開催されるマルシェはメンバーで共同運営しています。運営スタッフの高野さん、石丸さんに話を聞きました。

柏丘をぐるっと見て回る方もいるんです。丘を登ると真駒内のまちが開けて見えたり、歩いてみると面白いと思いますよ。」と高野さん。



マルシェにはこだわりの商品が並びます。お店の人との楽しい会話がマルシェの魅力です。

●出合いが繋がるマルシェ

月1回の開催を毎月企画していくには多くの方の協力が不可欠だったそう。「アトリエの場所を提供していただいている方や、フライヤーを作ってくれる方、素敵な商品を販売してくれるお店の方、その他にもたくさんの人の力を借りてUI マルシェはできています。これからも多くの方とのつながりが生まれるマルシェでありたいと思います。」と石丸さん。

●さまざまな人が集まる場

高齢になって遠出ができなくなった方が、近所の美味しいパンやこだわりの雑貨を楽しみに来てくれることもあるとのこと。地域外から訪れるお客さんも多いそう。「マルシェがきっかけで初めて柏丘に来たという方も多く、

UI マルシェを中心として、地域の人や出展者、アーティスト、学生など多くのつながりが生まれています。そんなさまざまな人との出会いこそが、UI マルシェをさらに魅力的にしています。



まこまない研究所

見たい風景を自分たちでつくる

バーは都市計画や建築設計、デザインなど各分野で活躍する若手が集まり、さらに大学関係者やカフェ経営者、働くママなどさまざまな視点から真駒内のまちづくりを捉えています。

さらに住民の生の声を聞くために「丘の上の休日」というイベントを開催しました。このイベントでは、来場者のまちづくりのアイデアを聞き、まこ研メンバーの林さんがその場でドローイングしていくワークショップも実施。そうして得られた生の声は生きた情報として活動に活かされています。



来場者のアイデアを絵にまとめていきました。完成図はまこ研 Facebook ページで公開しています。

2017年8月、柏丘で「丘の上の休日」というイベントが開催されました。このイベントには約300の方が来場し、賑わいを見せました。この取組をUI マルシェと共に主催したのが通称「まこ研」こと「まこまない研究所」です。

●さまざまな立場を持ったメンバー

まこ研の活動は平成26年に行われた真駒内まちづくりアイデアコンペから始まりました。真駒内を南区のライフスタイルのショーケースとして発信していくことをコンセプトにした提案で、現在もそのコンセプトで活動しているそう。8人のメン

●生きた情報を集めて

「空き家が課題とされている真駒内ですが、実態調査は今までされていませんでした。そこで、真駒内の幾つかのエリアの家を一軒一軒周って調査していきました。」そう話していただいたのはまこ研代表の升田さん。

●日常を少し上質にする

「これからはイベントだけでなく、日常に定着する常設の何かができたらと思っています」と升田さん。現在はまだ取組も、少しずつつながって面になっていき、いつか真駒内全体にひろがっていくイメージを描いています。「まこ研では自分たちが思う「良い風景」をまずは自分たちでつくってみたいと思っています。」と林さん。まこ研にしかできないまちづくりが始まろうとしています。